

シクロケム

LCD包接素材を開発

N2産をNF患者に提供

シクロケム(神戸市中央区)は、ニュージーランド産及びブラジル産のポリス抽出エキスを、それ respective シクロデキス あるコーヒー酸フェニチトリン(CD)で包接し、ルエステル(CAPE)で包接し、「NZプロポリスCD」「BRプロポリスCD」として原材料供給している。前者は、有効成分で、後者は、有効成分で、料に用いたもの。CAPEには腫瘍の一種である神経線維腫症(NF)に

同成分を CCDで接種すると、抗腫瘍活性が高まることがシシクロケムは産業総合技術研究所、ドイツのキール大学との共同研究で確認。この結果に基づきNZプロポリスCを開発した。

社長は、NZプロボリスCDのNFに対する作用を著書にまとめた。その読者からの問い合わせが国内外からあり、無償提供したところ、後日、NZ患者の家族から元気に過ごすことができて感謝されたという。

後者は、COVID-19が人間の体内細胞で増殖する際に用いる、メイプロテアーゼ酵素を阻害するというもの。もう一つは、COVID-19が感染時に働く酵素「P_{AK1}」の働きを、遮断することが示唆されてい

対する有用性が確認され
てしゅじょくから、シクロ
ケムではNF患者にNZ
プロポリスCDを提供し
ている。

り込まれやすくなり、細胞内でコーヒー酸に加水分解されて抗腫瘍活性を示す。しかし、そのまま摂取した場合は、胃酸で

蓄積しており、最近では
脳機能改善作用や新型コ
ロナウイルスに対する抗
ウイルス作用を報告して
いる。前者についてはヒ